2025 年 4 月 19 日

市議会「スポーツ振興に関する市民との意見交換会」

林　但

横須賀市議会が19日、議員提出議案として検討している「（仮称）スポーツ振興条例」案に関する市民との意見交換会を市生涯学習センターで開きました。三部形式で、第一部：スポーツマネジメントの専門家である関東学院大学・経営学部准教授の奈良堂史氏による講演　第二部：スポーツ振興条例（案）全体像　第三部：市民とのグループディスカション（8 名？/グループ×6）です。

参加した市民は約30人、関東学院大学 4 年生 5 名、関係議員 17 名＋α、議会事務方（書記）や報道関係者、多数の傍聴？方などが広い会場いっぱいに詰め掛けていました。

第一部では講師の専門である「スポーツマネジメント」の視点から、スポーツによるまちづくりに対する基本的な考え方や進め方の紹介がパワーポイントで 38 枚あった。アイスブレーク代わりのオープニングでは「スポーツの価値」はどのようなものですか？　自分で考え→自己紹介・ペアワーク→全体発表（林ともう1名）と進んだ。この後,本題の講義があったが気づいた点は以下の通りです。

・スポーツの価値は役割に柔軟性がある。

→文化・教育・健康増進・経済活性化・コミュニティ再生・地域交流・観光・外交・エコ活動・・・・

・役割が柔軟・多様だからこそ、様々な活動の土台となる！

・成功のポイントは「戦略的な思考（発想）で進める」

・**戦略的思考とは、ありたい姿、絵に描いた餅へのギャップを埋めるための施策・方向**を示す。

差別化（独自性）の視点を加味　→「〇〇のまち」「横須賀モデル」等の検討

・重要な視点 Sport（スポート）

① Sports　・・・個々の種目別スポーツ活動

② Sport　・・・・広くすべての身体活動や経験を包括する概念

第二部は割愛。

第三部は、グループに分かれディスカションン。林のグループは BMX の選手、大学生と議員の方である。他も見るとスポーツのいろいろなことに関わる方、見るのが好きな方、障害をお持ちの方など熱く語る方が多いように見受けた。40 分間の討議と書記（議会事務局）が付箋を使い親和図法にもとづき整理、グループまとめ役の議員が重要な項目 3 つ程度を 2 分にまとめ発表した。共通する内容もあれば気づかなかったあらたな視点もあると感じた。

講師からの講評でいろいろな意見が出たようであるが発表を聞いていて感じたことは、①独自性を入れて。横須賀はいろいろなスポーツや取り組みをされているが、「横浜」と読み替えると通用するのではなく横須賀らしいもの。②今はアスリート支援が進んできたが「アスリート活用」を検討してほしい。

林は昨年 11 月のスポーツ推進委員協議会研究全国大会で、宮崎県の市町の事例発表の中にアスリート活用の一端をやっているところがあったように講評を聞いていて感じた。

今後もこの内容に注目していきたい。　　　　　　以上